

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立城陽支援学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	本校ビジネス総合科全員及び運動系部活動生徒 61名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体育・委員会活動)</p> <p>② 行事名 (持久走トライアル・球技大会)</p> <p>③ その他 (部活動)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント→中止</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス禍でも取り組みが可能なスポーツを選択し、スポーツへの関心や地域とのつながりを維持できるような機会を作る。 ・スポーツを通じての交流の中で、自己理解や他者理解の力を育む。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学期の1回の球技大会（高等部ビジネス総合科全員参加）においてポッチャ、卓球バレー、ドッチビー等に取り組む。 （今回は卓球バレーは3学期に行うことにしました） ・校内持久走タイムトライアルや球技大会でピブスを使う。 （参加予定だったが、中止になった大会） <p>全京都障害者スポーツ大会 陸上 府立学校スポーツ交流会 京田辺市・城陽市の陸上大会 城陽市卓球大会 久御山町、城陽市マラソン大会 井手町ソフトボール大会</p> 

6 主な成果	<p>(球技大会) 校外でのスポーツ大会が無くなったことにより、校内で新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら行い、平常ではできない学年交流ができ、相互理解につながった。また保健体育委員会の生徒たちが企画する形が定着し、次回の球技大会への期待の言葉が出た。</p> <p>(持久走タイムトライアル) 他と競うのではなく、自分の記録を伸ばすことを目標に取り組んだ。結果的にタイム上位者を讃える機会は設けたが、それぞれの生徒は今までよりは頑張れたという感想を持った。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの大会が中止となる中、生徒たちのモチベーションが下がることのないよう、指導者は「ほめる」ことを意識した。 ・ボッチャ、卓球バレーなど障害者スポーツへの関心を高めるためにパラリンピックについての授業や課題を増やした。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・フライングディスクは授業等で活用し、その面白さを知る生徒を増やしていく。 ・他校生や地域の方との交流が減る中、いかに生徒の意欲を高めスポーツへの興味を引き出していくか。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・例年の企画として前述の大会が実施されれば積極的に参加する。 ・卓球バレーを、学部を越えて推進する。